

ぜんまい

令和5年 4月
第68号



写真提供：山形県内水面漁連

漁業者(会員)漁連の傘下漁協組合員
 年間契約「四回発行」定価三〇〇〇円本体二七七八円送料サービス
 年間契約「一回発行」定価三〇〇〇円本体二九一〇円送料サービス
 単品定価七五〇円本体六八二円送料別
 単品定価八〇〇円本体七二八円送料別

全国内水面漁連の出版物

本会では、漁場環境の改善に係る水産庁の委託事業を受託しています。事業終了後にその結果を、報告書として取りまとめ、漁業関係者ほか多方面に実費負担で提供しています。ご希望の方はこちらの申込方法をご覧ください。在庫がなくなり次第、終了とさせていただきます。
 ※価格には送料・消費税10%が含まれています。

タイトル	監修・編集	発行	価格	在庫
アユ種苗の放流の現状と課題 —琵琶湖産、人工産、海産の特性を考慮した増殖事業—	監修 農学博士 石田 力三	H14.3	2,100	
魚を取水施設に迷入させないための試み —内水面資源利用向上対策事業報告書—	監修 愛媛大学名誉教授 水野 信彦	H13.3	1,570	
天然アユを川にたくさん遡上させるための手引き —海産アユ種苗回帰率向上総合調査報告書—	監修 東京大学名誉教授 羽生 功	H12.6	2,620	
「身近な川と魚の調べ方」を用いた調査と さかんに配慮した河川工事事例 —都市近郊河川漁場改善調査報告書—	監修 広島大学名誉教授 中村 中六 東京大学名誉教授 平野 礼次郎	H8.3	2,410	
魚の迷入の実態とその対策へのアプローチ —放流稚魚等迷入防止対策事業報告書—	監修 水産環境研究所代表 石田 力三	H8.3	2,940	少
農業水利施設の魚道整備の手引き	編者 農業水利施設魚道整備検討委員会	H6.3	2,100	少
汽水域資源の有効利用をめざして —汽水域総合開発利用調査報告書—	監修 東京大学名誉教授 日比谷 京	H6.3	1,890	
ブラックバスとブルーギルのすべて —外来魚対策検討委託事業報告書—	監修 東京大学名誉教授 羽生 功	H4.3	3,150	少
魚を育む豊かな流れ —河川生物資源保全流量調査報告書—	監修 東京大学名誉教授 日比谷 京	H1.3	2,410	少

【申込方法】

お申し込みは、申込書をHP上でダウンロードして印刷し、必要事項をご記入の上、FAX、郵送または電子メールにてお送りください。お支払いは、現金書留、または銀行振込にて先払いをお願いいたします。入金が確認出来次第、お届けいたします。

●郵便の場合

現金と申込書を同封の上、現金書留にて本会事務局までお申し込みください。

●銀行振込の場合

申込書をファックスまたはお電話、電子メールにてお届けください。折り返し振込先をお伝えします。

【申し込み先】

全国内水面漁業協同組合連合会

〒101-0044
 東京都千代田区鍛冶町1丁目10-4
 丸石ビル4階
 TEL: 03-6260-9595
 FAX: 03-5296-2030
 E-mail: zennaigyoren@naisuimen.or.jp

CONTENTS

巻頭言	2	令和4年度 やるぞ内水面漁業活性化事業内水面漁場管理実態調査	
全内漁連開催の各会議について		分析にかかる検討会の概要	22
理事会を開催	4	現場で活用出来る各種パンフレットのご紹介	23
第1回種苗対策委員会を開催	4	内水面漁協(第38回)	24
第16回内水面漁業の施策に関する意見交換会を開催	4	愛しきアユ(第41回)	25
令和4年度補助事業の実施結果報告	8	ウナギ生息環境改善支援事業	26
令和4年度委託事業の実施結果報告	10	水産多面的機能発揮対策支援事業	27
釣りと手仕事	12	日光支所から	28
ワカサギふ化施設導入に関する支援制度のご案内	13	業務日誌	30
無人航空機のレベル4飛行に係る環境整備	14	職員のつばやき	31
やるぞ内水面! ~水産庁現地レポート~	16	新聞記事から	31
我が漁協(愛媛県 加茂川漁協)	18	編集後記	31
気になる研究結果(国立研究開発法人 水産研究・開発機構 水産技術研究所)	20		



フィッシュパスでは、
釣り人に新しい“あたりまえ”をお届けします。

いつもの川釣りに 保険がついてる遊漁券



詳しくはこちら



流れが急な場所、残雪のある溪流釣り、
自然派なあなた専用の保険を。
日本初*、すべてのデジタル遊漁券に傷害保険を付与。

*販売金額は従来の遊漁券価格と変わらず据え置き。フィッシュパスでご購入の遊漁券に自動的に保険が付加。
ご購入いただいた保険つき遊漁券の補償の適用には、フィッシュパスアプリで釣り開始機能を有効にすることが必要（釣り開始前にアプリ右下の使うを押す）。

■フィッシュパスで購入されたデジタル券のみ適用 ■期間：2023年1月1日から2023年12月31日
■補償内容は、死亡・後遺障害：100万円/入院日額：1,000円/手術保険金：入院中…入院保険金日額の10倍、入院中以外…入院保険金日額の5倍/救護者費用：100万円になります。また、補償期間は遊漁券対象日に対象区域へ釣行のため住居を出発してから住居に帰着するまでの行程中（1泊2日まで）となります。

日本の川釣りを、アプリで変えていきたい。

株式会社 **フィッシュパス**

〒910-0347 福井県坂井市丸岡町熊堂 3-7-1-16 福井県産業情報センター

保険つき遊漁券 安心

0776-67-7335



日光支所から

湯ノ湖・湯川

フライフィッシングは、欧米式の毛針であるフライを使う釣りです。日本では1902年(明治35年)、栃木県日光市の湯川と湯ノ湖に、英国商人トーマス・グラバーがカワマスを放流して楽しんだことが始まりとされ、120年が経ちました。このことから、この一帯は「日本のフライフィッシングの聖地」と称され、フライマンたちがいつか釣りをしてみたい場所のひとつとしてあげられます。湯川では、5月の後半に水温も上がり、ヒゲナガなど大型の水棲昆虫のハッチが始まるとドライフライ(乾いた毛鉤)のことで、水面上に浮んだ水棲昆虫や陸生昆虫を模している)で釣りが楽しめる季節となります。



ヒゲナガ(上)、湯川：トーマス・B・グラバーのカワマス放流100年を記念して作られたポストカード(下)

湯ノ湖・湯川調査研究推進協議会

日光支所では、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所が行う冷水域の資源管理に関する調査協力を行っています。年に1回協議会を開催して水産庁の研究水面で各機関が行った湯ノ湖・湯川での調査結果や、全内が委託を受けている釣り場管理の状況を国・県・市の関係機関と地元自治会や関係者に報告し、今後の利用方法を話し合います。本年度も、新型コロナウイルス感染症対策として会議は書面による報告と協議で行われました。

水産技術研究所からは、全内が回収した釣魚に関するアンケートに基づく釣獲状況分析結果報告、全内からは釣り場の管理運営状況や釣り人の動向や課題などを令和4年度の調査結果として書面報告しました。また、5年度の調査実施計画については書面協議によって承認が得られました。

解禁に向けて

湯ノ湖と湯川の釣り場管理業務の解禁を令和5年5月1日(月)に控え、準備を進めています。釣魚期間は、5月1日から9月30日の5ヶ月間です。新型コロナウイルス感染拡大から約3年が経



コカナダモ除去作業の様子、奥では、海上保安本部の特殊救難隊の潜水訓練が行われている

過し、3月13日以降マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し個人の判断に委ねることとされました。また、5月8日からは、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられ、withコロナ(新型コロナウイルスとの併存)における感染対策へと移行されることが決定しています。屋外では季節を問わずマスクの着用が原則不要となりますが、釣り人に安心安全な釣り場を提供するため、引き続き消毒液の設置を行うなど感染対策を継続する予定です。3月初旬に、湯ノ湖においてコカナダモの除去作業を行いました。湯瀨から下流に流れて行かないよう地道な除去作業が必要で、養魚池では、採卵した卵をふ化させ、エサや飼育池の環境などを調整し、魚にストレスを与えないよう丁寧に飼育しています。色や形が綺麗！食べても美味しい！そんな釣り人に喜ばれる魚を目指して、日々試行錯誤を繰り返しています。